

令和6年度運動習慣定着啓発イベント運営業務概要

1 背景

青森県の平均寿命は男性が昭和50年から、女性が平成7年から全国最下位である。また、全国と比較し、生活習慣病で亡くなる者が多く、成人の肥満者の割合も高い状況にある。さらに、肥満傾向児の出現率が5～17歳の全年齢で全国平均を上回っており、子どもから大人までヘルスリテラシーの向上が求められている。

2 課題

現状を打破するためには、適度な運動、適切な食生活等の定着・継続が重要である。

本県では、運動に関する指標が悪化傾向にあるため、県民が運動の重要性に気づき、運動に取り組むきっかけをつくるなどの機運醸成を図ることが重要である。

3 事業内容

(1) 事業趣旨

学童期からの適切な生活習慣の定着など、大人も含めた「生涯健康」の基盤づくりを行う「県民の未来の健康基盤づくり事業」(重点事業(R5～R10実施))を実施しており、本業務はその一環として実施するものである。

(2) 内容・ポイント

地域資源を活用し、子どもから大人まで幅広い年代が楽しんで参加できるイベントを開催する。

現時点では、GPS機能を活用したスタンプラリー及び楽しんで参加できる実地の運動イベントを想定しているが、より効果的な方法がある場合はこの限りではない。

①スタンプラリーキャンペーンの開催・運営

- ・“歩くこと”をテーマに子どもやその保護者、幅広い年代が気軽に参加しやすい内容とすること。
- ・県内全域で開催することを想定している。
- ・期間は2ヶ月程度を想定している。
- ・冬季間の県民の運動促進を狙い、実施期間の一部が降雪期間であることが望ましい。
- ・事務局を設置し、進行管理を行うこと。
- ・必要に応じたWEB環境を構築すること。
- ・達成状況などに応じたプレゼント、景品の抽選権付与などのインセンティブを設定し参加率を高める工夫を行うこと。

②県民が楽しんで参加できる運動イベントの開催・運営

- ・子どもやその保護者が気軽に参加できる内容とすること。
- ・地域活性化や経済を回す取組となる要素を織り込むよう努めること。
- ・予算の範囲内で開催可能な回数とすること。
- ・事務局を設置し、進捗管理を行うこと
- ・必要に応じたWEB環境を構築すること。
- ・達成状況などに応じた県産品等のプレゼントといったインセンティブを設定するなど

参加率を高める工夫を行うこと。

③イベント広報（①、②の戦略的広報）

- ・著名人の起用や話題性を意識した演出など、訴求力を高める工夫を行うこと。
- ・適切な素材と媒体（動画とWEB広告など）を活用し、効果的な広報を実施すること。

（3）期待する効果

生活習慣改善の機運の盛り上がり

身体活動の増加

運動に興味を持つ人の増加

→ヘルスリテラシーの向上

<参考>

①歩いてGET！GPSスタンプラリー

開催期間：令和5年11月～12月

②街を歩いてポイントGET！ロゲイニング大会

開催日時：令和5年9月17日（弘前市）、同年10月6日（青森市）

内容：開催期間中、①ウォークビズを啓発するためのイベント、②GPSスタンプラリー（40市町村に各1箇所、計40箇所のポイント設置）、③ロゲイニング（青森市内）を開催した。

・あおもり健康情報局

がん・生活習慣病対策課が運営するSNSアカウント。

健康に関する情報や当課が主催するイベント情報について、情報発信を行っている。

X (旧 Twitter)



YouTube



Instagram



Facebook

